

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公表番号】特表 2016-512580 (P2016-512580A)

【公表日】平成 28 年 4 月 28 日 (2016.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2016-026

【出願番号】特願 2016-500402 (P2016-500402)

【国際特許分類】

D 0 3 D 1/00 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

D 0 3 D 15/02 (2006.01)

D 0 2 G 3/38 (2006.01)

D 0 2 G 3/04 (2006.01)

H 0 2 G 3/04 (2006.01)

【 F I 】

D 0 3 D 1/00 Z

D 0 3 D 15/00 D

D 0 3 D 15/00 1 0 1

D 0 3 D 15/02 Z

D 0 2 G 3/38

D 0 2 G 3/04

H 0 2 G 3/04 0 6 2

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 17 日 (2017.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

【図 1】本発明の一局面に従って織られたテキスタイル E M I 遮蔽ファブリックの概略平面図である。

【図 2】本発明の別の局面に従って織られた図 1 のファブリックの拡大部分平面図である。

【図 2 A】図 2 のファブリックの側面図である。

【図 3】本発明のさらに別の局面に従って織られた図 1 のファブリックの拡大部分平面図である。

【図 3 A】図 3 のファブリックの側面図である。

【図 4】図 1 のファブリックの構築に用いられるハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 5】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 6】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 7】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 8】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 9】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図

である。

【図 1 0】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 1 1】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 1 2】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 1 3】図 1 のファブリックの構築に用いられるさらに別のハイブリッド系の拡大側面図である。

【図 1 4】本発明の別の局面に従う織ファブリックから構築される巻付き可能スリーブの斜視図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

ファブリック 1 0 は平織パターンで織られ得るが、これは開口部 1 8 の数を増加させる（互いの上下で波打つ緯および経系の各交差点に 2 つの開口部が生じる）。したがって、クロフット型朱子織（図 2 A）もしくは 8 ハーネス朱子織パターンなどの朱子織パターン、または任意の他の種類の朱子織パターンを用いることによって、平織パターンと比較して開口部 1 8 を減らすことが好ましい。開口部 1 8 の数はファブリック表面にわたる全導電率に影響し得ることが分かっており、形成される開口部が少ないほど典型的に導電率が向上し、E M I に対する保護が向上する。